

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	重症者が増えている為に、一人ひとりのケアにかかる時間も職員数も増えている事もあり、ADLが比較的高い人がほっておかれる傾向がある。	そんな中でも、各々の職員が利用者に反対に気を使ってもらえない様に、また利用者が自分の思いを発散できる様なケアをする。	・極力「私は忙しいのでここにて頂戴」等の本人の動きを制限するような言葉がけをさける。 ・命令口調の言葉は発しない。	6ヶ月
2	49	依然としてホーム内での催しは多く、それはそれで必要だが、散歩や日光浴をはじめ、外の空気を楽しむ支援に欠けている。	月に一回は何らかの形で外の空気を吸う支援を行う。(車椅子や歩行器使用の方がほとんどなので、1:1対応になるので職員数の多めの日に設定する)	・買い物依存気味の利用者だけでなく、他の利用者も積極的に連れて出かける支援を行う。 ・農家出身の方も多いため、農作業を体験できるよう、土いじり、水やりの支援を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。